

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

基本理念

地域とともに夢と豊かさを広げます。

② 中長期の経営戦略

1. 地域共創戦略

地域の多種多様な課題ごとに、グループのネットワークを活用したプラットフォーム形成。当行がハブとなり課題解決を広げるプロモーター役を果たす。

3. トランスフォーメーション戦略

デジタル技術やデータ活用により経営基盤を拡充。新勘定系システムのアドバンテージを活かし、業務生産性向上と経費構造の変革を推進。

2. グループビジネス戦略

「深く、大きく、新しく」をコンセプトに、既存ビジネスの深掘り・事業領域の拡大・新事業への挑戦。地域共創から創出された収益機会も取り込む。

4. グループガバナンス戦略

親会社がグループ全体を統括支援。当行が中核企業として事業シナジーを創出し、自立と連携で第1次中期経営計画を推進。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の変化への対処

- ・ 国際情勢の不安定化・金融経済環境の継続的影響に機動的・適切に対応
- ・ 人口減少・少子高齢化の進行に対応
- ・ デジタルシフト・脱炭素化による社会構造の変化に対応

② 人財の変革・育成

- ・ 地域・お客さまの課題解決を担う人財の確保
- ・ 脱炭素化・DX・ベンチャー等、新たな社会価値を創造する価値創造型人財の拡充
- ・ DE&Iの推進により役職員一人ひとりの活躍の場を広げる

③ 社会価値と企業価値の両立

- ・ 地域経済の自律的な活力向上を通じた収益基盤構築
- ・ マテリアリティに基づく社会課題の解決に取り組む
- ・ ステークホルダーのウェルビーイング向上と企業価値向上の同時実現

面接で使えるポイント

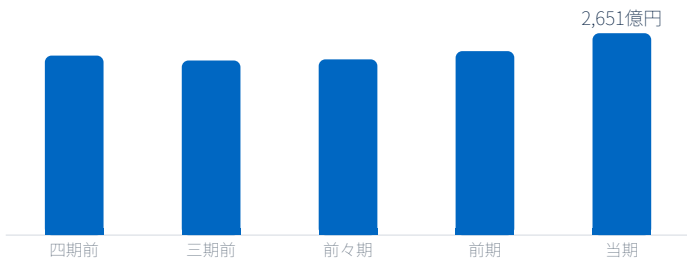
- ・ 2022年10月3日の持株会社体制移行により、総合金融グループとしてグループシナジーを活かした課題解決型ビジネスを推進
- ・ 2030年に目指す姿として、地域とお客さまの課題解決によるステークホルダーのウェルビーイングと企業価値向上の両立を掲げて…
- ・ 人財を経営戦略の中心に置き、DE&Iの推進と価値創造型人財の拡充により、人的資本経営を実現

株式会社静岡銀行

銀行業 | 非上場（有価提出会社） | 決算期 3月31日 | 連…

EDINETコード E03570

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
親会社である株式会社しずおかフィナンシャルグループのもと

主力事業・セグメント
・銀行業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）
・連結売上高2,651億円の事業規模

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
2,651億円

営業利益率
－（未開示）

財務健康度
30点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 52.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）

平均年齢
－（未開示）

平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

株式会社静岡銀行 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

